ずし男女平等参画プラン2030

－ 2023 年度実施状況報告書 －

2024 年(令和6年) 10 月

逗子市

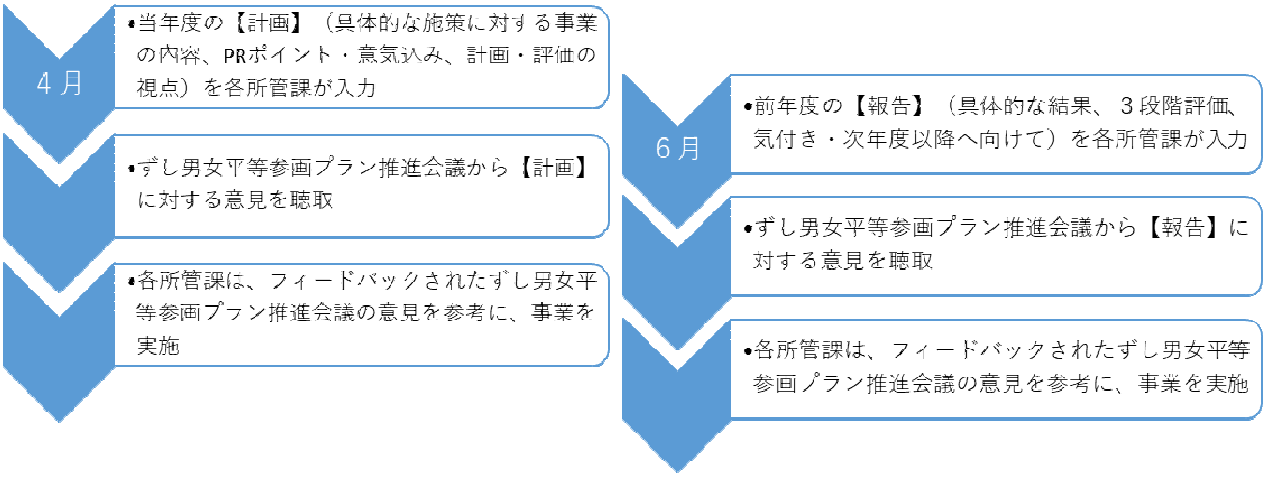
はじめに

逗子市では、2022 年(令和4年)10 月1日に「逗子市男女平等参画及び多様性を尊重する社会を推進する条例」を制定しました。また、男女平等参画及び多様性を尊重する社会の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための基本的な計画「ずし男女平等参画プラン 2030」を 2023 年(令和5年)3月に策定し、様々な施策に取り組んでいます。 この報告書は、「ずし男女平等参画プラン 2030」の進捗状況について公表するものです。すべての人が性別による役割分担意識に基づく社会制度や慣行にとらわれることなく、多様性を認め合い、自分らしく生きることができるよう、男女平等参画及び多様性を尊重する社会の実現に向けて、取り組んでいきます。

進捗管理

「ずし男女平等参画プラン 2030」は、「めざす社会」と「基本目標」、それを実現するための「施策の方向」、「具体的施策」、その「内容」により体系化されています。進捗管理については次ページの計画・評価の視点を踏まえ、「ずし男女平等参画プラン 2030 推進計画・実施状況報告書」により、推進計画と実施状況報告の 2 段階で進捗管理を行います。これにより、計画・評価の視点を各所管課と共有するとともに、各所管課は、ずし男女平等参画プラン推進会議からの意見を参考に事業を実施し、プランの推進を図ります。

計画・報告の流れ



ホームページで前年度の報告書の公表

※2023 年度(令和5年度)の報告書については、「ずし男女平等参画プラン 2030 推進計画・実施状況報告書」の様式作成に当たり、時間を要したため、実施状況報告の記載のみとなっています。

ずし男女平等参画プラン 2030 推進計画・実施状況報告書

計画・評価の視点

視点１

「逗子市男女平等参画及び多様性を尊重する社会を推進する条例」第 3 条の基本理念に基づいているか。

1	【人権の尊重と暴力の根絶】 全ての人が、性別等にかかわらず個人として尊重され、あらゆる暴力及び差別的な扱いを受けることがないこと。
2	【多様な生き方の選択】 全ての人が、性別による役割分担意識に基づく社会制度や慣行にとらわれることなく、個性及び能力を発揮し、自らの意思により多様な生き方を選択できること。
3	【あらゆる分野への男女平等参画の促進】 全ての人に、社会の対等な構成員として、あらゆる分野における活動方針の立案及び決定に平等に参画する機会が確保されること。
4	【ワーク・ライフ・バランスの実現】 全ての人が、性別に関係なくワーク・ライフ・バランスを実現できること。
5	【生涯を通じた心身の健康づくり】 全ての人の妊娠、出産等の性と生殖に関して、個人の意思が尊重され、生涯にわたり健康な生活を営むことができること。
6	【国内及び国際社会の取組との協調】 男女平等参画及び多様性を尊重する社会の推進は、国内及び国際社会の取組と密接に関連していることから、それらの取組と協調して行われること。

視点２

ア	ジェンダー平等の視点 (例)男女のバランスが不均衡になっていないか、男女で機会に不平等がないか、ジェンダーバイアスを生み出す広報になっていないかなど。
イ	多様な性の視点 (例)性的マイノリティの存在も想定されているか、性的マイノリティが参加しづらいものになっていないか、性的マイノリティに対する差別や偏見を助長する広報になっていないかなど。

目　次

基本目標Ⅰ　男女平等参画及び多様性を尊重する社会の推進に向けた意識づくり
　1　男女平等、多様性尊重のための意識づくり　……1
　2　男女平等、多様性尊重に向けた教育の推進　……8

基本目標Ⅱ　あらゆる分野への男女平等参画の促進
　1　政策、方針決定の場への女性の参画促進　……12
　2　地域活動、社会活動における男女平等参画の促進　……14

基本目標Ⅲ　誰もが安心して暮らせるまちづくり
　1　多様性に配慮したまちづくり　……17
　2　障がい者、生活困窮者への支援　……21
　3　子育てへの支援　……23
　4　生涯を通じた心身の健康づくり　……26

基本目標Ⅳ　誰もが活躍できるまちづくり
　1　雇用における男女平等の実現　……30
　2　女性が活躍する環境づくり　……34
　3　ワーク・ライフ・バランスの普及、啓発　……36

基本目標Ⅴ　あらゆる暴力の根絶
　1　あらゆる暴力の根絶に向けた取組　……40
　2　DV被害者の安全確保　……43
　3　相談体制の充実　……48

プランの数値目標　……50

〈2023年度〉

ずし男女平等参画プラン2030　推進計画・実施状況報告書

担当課	市民協働課	整理番号	1
基本目標	Ⅰ　男女平等参画及び多様性を尊重する社会の推進に向けた意識づくり		
施策の方向	1 男女平等、多様性尊重のための意識づくり		
具体的な施策	男女平等、多様性尊重の意識を高めるための啓発		
内容	講座や研修などを開催し、あらゆる分野において男女平等や性自認、性的指向により差別されることのない多様性尊重の社会を目指し、意識を高めるための様々な人権啓発活動を行います。		

事業名	男女平等参画プラン推進事業	当初 予算額　5,814 千円
事業の目的	すべての人が平等に参加できる男女平等参画社会を実現する。	

【計画】

具体的な施策に対する事業の内容

【報告】

具体的な結果
1.男女平等参画啓発講座の開催 ・子どもの護身法講座（開催日7/15、参加者数42名（大人20名、子ども22名）、アンケート結果　大いに満足、満足…100%） ・みんなで応援！令和モデルの育児と仕事（開催日2/25、参加者数12名、アンケート結果　大いに満足、満足…63.6%） ・デートDV予防ワークショップ（開催日2/20、2/22、2/27、参加者数公立中学３校計328名、アンケート結果　とてもためになった、ためになった…89.4%） 2.「逗子市男女平等参画及び多様性を尊重する社会を推進する条例」の啓発パンフレットの配架（配架場所数５（交流センター、沼間・小坪コミュニティーセンター、市役所内２箇所）） 3.相談先情報やイベント情報の提供（ポスター掲示、チラシ配架等）

PRポイント・意気込み	視点１	視点２	３段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
	1 ☑	ア ☑　イ ☑	A	参加者数や満足度が伸びなかった講座があったため、次年度以降も啓発効果、参加者数、満足度等を意識し、講座内容を検討します。
	2 ☑	ア ☑　イ ☑	A	
	3 ☐	ア ☐　イ ☐		
	4 ☑	ア ☑　イ ☑	A	
	5 ☐	ア ☐　イ ☐		
	6 ☐	ア ☐　イ ☐		

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

	取組結果から、プランの推進へ効果があったと考えます。 次年度以降も、視点を意識した取組の継続とともに新たな気づきを期待します。

〈2023年度〉

ずし男女平等参画プラン2030　推進計画・実施状況報告書

担当課	社会教育課	整理番号	1
基本目標	Ⅰ　男女平等参画及び多様性を尊重する社会の推進に向けた意識づくり		
施策の方向	1 男女平等、多様性尊重のための意識づくり		
具体的な施策	男女平等、多様性尊重の意識を高めるための啓発		
内容	講座や研修などを開催し、あらゆる分野において男女平等や性自認、性的指向により差別されることのない多様性尊重の社会を目指し、意識を高めるための様々な人権啓発活動を行います。		

事業名	人権教育等事業	当初 予算額　564 千円
事業の目的	市民を対象とし、人権問題について正しい理解と認識を深める。	

【計画】　【報告】

具体的な施策に対する事業の内容	具体的な結果
	デートＤＶ予防講座開催（開催日7/12、参加者数市内の県立高校生徒１年生310名、アンケート結果とても関心を持てた又は関心を持てた92%）

PRポイント・意気込み	視点１	視点２	３段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
	1 ☑	ア ☑ イ ☑	A	多様性の尊重に関する普及や啓発について、引き続き留意していく。
	2 ☐	ア ☐ イ ☐		
	3 ☐	ア ☐ イ ☐		
	4 ☐	ア ☐ イ ☐		
	5 ☑	ア ☑ イ ☑	A	
	6 ☐	ア ☐ イ ☐		

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

	取組結果から、プランの推進へ効果があったと考えます。 次年度以降も、視点を意識した取組の継続とともに新たな気づきを期待します。

〈2023年度〉

ずし男女平等参画プラン2030　推進計画・実施状況報告書

担当課	市民協働課	整理番号	2
基本目標	Ⅰ　男女平等参画及び多様性を尊重する社会の推進に向けた意識づくり		
施策の方向	1 男女平等、多様性尊重のための意識づくり		
具体的な施策	行政刊行物等における適切な表現		
内容	市から情報発信する刊行物、ホームページ、ちらし、パンフレット等において、男女平等参画の視点から適切な表現への配慮に努めます。		

事業名	男女平等参画プラン推進事業	当初 予算額　5,814 千円
事業の目的	すべての人が平等に参加できる男女平等参画社会を実現する。	

【計画】

具体的な施策に対する事業の内容

PRポイント・意気込み	視点１	視点２
	1 ☑	ア ☑　イ ☑
	2 ☑	ア ☑　イ ☑
	3 ☑	ア ☑　イ ☑
	4 ☐	ア ☐　イ ☐
	5 ☐	ア ☐　イ ☐
	6 ☐	ア ☐　イ ☐

【報告】

具体的な結果
人権・男女平等参画係からの情報発信については、男女平等参画の視点から適切な表現へ配慮して作成した。 1.広報ずし４月号に男女平等参画の特集を掲載し、性別役割分担意識とアンコンシャスバイアスについて掲載した。 2.パンフレット「ひとりひとりが自分らしく」の作成にあたり、性別によって役割を決めつける表現や過度な性的表現をしないよう周知する内容を盛り込んだ。

３段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
B	逗子市からの情報発信すべてにおいて男女平等参画の視点から適切な表現となるよう、全庁的に周知するための取組を検討します。
B	
B	

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

	取組結果から、プランの推進へ一定の効果があったと考えます。 次年度以降も、視点を意識した取組の継続とともに新たな気づきを期待します。

〈2023年度〉

ずし男女平等参画プラン2030　推進計画・実施状況報告書

担当課	職員課	整理番号	3
基本目標	Ⅰ　男女平等参画及び多様性を尊重する社会の推進に向けた意識づくり		
施策の方向	1 男女平等、多様性尊重のための意識づくり		
具体的な施策	市職員への研修		
内容	市職員に対して、男女平等、多様性を尊重する意識を高め、理解促進のための研修を行います。		

事業名	職員研修事業	当初 予算額　165 千円
事業の目的	市職員への研修	

【計画】

具体的な施策に対する事業の内容

PRポイント・意気込み	視点１	視点２
	1 ☑	ア ☑　イ ☑
	2 ☑	ア ☑　イ ☑
	3 ☑	ア ☑　イ ☑
	4 ☑	ア ☑　イ ☑
	5 ☐	ア ☐　イ ☐
	6 ☑	ア ☑　イ ☑

【報告】

具体的な結果
実施なし

３段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
C	次年度以降へ向けて実施を検討していく。
C	
C	
C	
C	

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

	市民講座等の案内を職員に周知するだけでも啓発になりますし、動画研修や他課との共催もありと考えます。 必要なことです。ぜひ実施してください。

〈2023年度〉

ずし男女平等参画プラン2030　推進計画・実施状況報告書

担当課	市民協働課	整理番号	3
基本目標	Ⅰ　男女平等参画及び多様性を尊重する社会の推進に向けた意識づくり		
施策の方向	1 男女平等、多様性尊重のための意識づくり		
具体的な施策	市職員への研修		
内容	市職員に対して、男女平等、多様性を尊重する意識を高め、理解促進のための研修を行います。		

事業名	男女平等参画プラン推進事業	当初予算額　5,814 千円
事業の目的	すべての人が平等に参加できる男女平等参画社会を実現する。	

【計画】

具体的な施策に対する事業の内容

【報告】

具体的な結果
男女平等参画啓発講座（みんなで応援！令和モデルの育児と仕事）について、市内各施設に広報依頼したところ、子育て支援センターの職員２名の参加があった。

PRポイント・意気込み	視点１	視点２	３段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
	1 ☑	ア ☑ イ ☑	B	職員課と共催での職員向け研修の実施を検討します。
	2 ☑	ア ☑ イ ☑	B	
	3 ☑	ア ☑ イ ☑	B	
	4 ☑	ア ☑ イ ☑	B	
	5 ☐	ア ☐ イ ☐		
	6 ☑	ア ☑ イ ☑	B	

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

	取組結果から、プランの推進へ一定の効果があったと考えます。 次年度以降も、視点を意識した取組の継続とともに新たな気づきを期待します。

〈2023年度〉

ずし男女平等参画プラン2030　推進計画・実施状況報告書

担当課	障がい福祉課	整理番号	3
基本目標	Ⅰ　男女平等参画及び多様性を尊重する社会の推進に向けた意識づくり		
施策の方向	1 男女平等、多様性尊重のための意識づくり		
具体的な施策	市職員への研修		
内容	市職員に対して、男女平等、多様性を尊重する意識を高め、理解促進のための研修を行います。		

事業名	障がい者権利擁護事業	当初 予算額　202 千円
事業の目的	障がい者の虐待防止や権利擁護の普及啓発、障がい者の差別解消に資する活動を行うもの。	

【計画】

具体的な施策に対する事業の内容

PRポイント・意気込み	視点１	視点２
	1 ☑	ア ☑　イ ☑
	2 ☑	ア ☑　イ ☑
	3 ☑	ア ☑　イ ☑
	4 ☐	ア ☐　イ ☐
	5 ☐	ア ☐　イ ☐
	6 ☐	ア ☐　イ ☐

【報告】

具体的な結果
障がい者の権利擁護・虐待防止啓発講演会を開催し、25名の参加があった。 市職員向けに合理的配慮に関する映像の視聴を依頼し、461名が視聴した。

３段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
B	次年度以降も同様の事業を実施することをベースに更なる効果を出す手法等について検討していく。
B	
B	

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

	取組結果から、プランの推進へ一定の効果があったと考えます。 次年度以降も、視点を意識した取組の継続とともに新たな気づきを期待します。

〈2023年度〉

ずし男女平等参画プラン2030　推進計画・実施状況報告書

担当課	市民協働課	整理番号	4
基本目標	Ⅰ　男女平等参画及び多様性を尊重する社会の推進に向けた意識づくり		
施策の方向	1 男女平等、多様性尊重のための意識づくり		
具体的な施策	多様な性への理解		
内容	男女という枠組みが前提の考え方（性別二元論）にとらわれないよう、多様な性への理解を深める取組を行います。		

事業名	男女平等参画プラン推進事業	当初 予算額　5,814 千円
事業の目的	すべての人が平等に参加できる男女平等参画社会を実現する。	

【計画】　【報告】

具体的な施策に対する事業の内容	具体的な結果
	1.広報ずし４月号に性の多様性の特集記事を掲載 2.逗子市パートナーシップ宣誓制度の実施 令和５年度宣誓数２件、累計宣誓数９件 3.デートDV予防ワークショップの開催 開催日沼間中2/20、久木中2/22、逗子中2/27、参加者数３校計328名 4.「逗子市男女平等参画及び多様性を尊重する社会を推進する条例」の啓発パンフレットの配架 配架場所数５（交流センター、沼間・小坪コミュニティーセンター、市役所内２箇所）

PRポイント・意気込み	視点１	視点２	３段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
	1 ☑	ア ☑　イ ☑	A	次年度以降もパートナーシップ宣誓制度の周知に取り組みます。また、デートDVは婚姻関係にないカップル間で起こる暴力だが、カップルが男女の関係だけでないことを前提として伝えるなど、ワークショップ内での伝え方を意識して実施します。
	2 ☐	ア ☐　イ ☐		
	3 ☐	ア ☐　イ ☐		
	4 ☐	ア ☐　イ ☐		
	5 ☑	ア ☑　イ ☑	A	
	6 ☐	ア ☐　イ ☐		

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

	啓発方法について、LINEの配信や、図書館・体験学習施設スマイル（カフェちょこっと、ほっとスペース）への配架の検討をお願いします。 「気づき・次年度以降へ向けて」の記載内容が理想的です。

〈2023年度〉

ずし男女平等参画プラン2030　推進計画・実施状況報告書

担当課	学校教育課	整理番号	5
基本目標	Ⅰ　男女平等参画及び多様性を尊重する社会の推進に向けた意識づくり		
施策の方向	2 男女平等、多様性尊重に向けた教育の推進		
具体的な施策	人権教育の推進		
内容	児童、生徒に性別にとらわれない男女平等や多様性尊重に向けた人権教育を推進します。また、幼少期から意識啓発を行います。		

事業名	人権教育	当初 予算額　　千円
事業の目的	「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること」を理解するとともに、それが態度や行動に現れるようにする。	

【計画】

具体的な施策に対する事業の内容

PRポイント・意気込み	視点１	視点２
	1 ☑	ア ☑　イ ☑
	2 ☐	ア ☐　イ ☐
	3 ☐	ア ☐　イ ☐
	4 ☐	ア ☐　イ ☐
	5 ☐	ア ☐　イ ☐
	6 ☐	ア ☐　イ ☐

【報告】

具体的な結果
【各学校】 ・「人権教育全体計画」を作成し、全ての教育活動で実施 【学校教育課】 ・神奈川県教育委員会作成「人権教育ハンドブック」を各学校へ周知 ・神奈川県教育委員会作成「人権啓発ポスター」の掲出依頼

３段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
B	各校で人権教育全体計画に基づいた教育活動を実施していく。

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

	各学校の取組や現状を把握することも必要と考えます。次年度以降は、当該年度の取組や工夫した点の報告をお願いします。

〈2023年度〉

ずし男女平等参画プラン2030　推進計画・実施状況報告書

担当課	社会教育課	整理番号	5
基本目標	Ⅰ　男女平等参画及び多様性を尊重する社会の推進に向けた意識づくり		
施策の方向	2 男女平等、多様性尊重に向けた教育の推進		
具体的な施策	人権教育の推進		
内容	児童、生徒に性別にとらわれない男女平等や多様性尊重に向けた人権教育を推進します。また、幼少期から意識啓発を行います。		

事業名	人権教育等事業	当初 予算額　564 千円
事業の目的	市民を対象とし、人権問題について正しい理解と認識を深める。	

【計画】

具体的な施策に対する事業の内容

PRポイント・意気込み	視点１	視点２
	1 ☑	ア ☑　イ ☑
	2 ☑	ア ☑　イ ☑
	3 ☑	ア ☑　イ ☑
	4 ☐	ア ☐　イ ☐
	5 ☐	ア ☐　イ ☐
	6 ☐	ア ☐　イ ☐

【報告】

具体的な結果
人権啓発リーフレット配付・配架（「人権について考えてみましょう」の中で、男女平等をはじめ様々な視点からの啓発を行った。市内の市立中学校生徒（全学年）に配付し、市民交流センターなど市内施設に配架を行った。）

３段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
A	リーフレットの中では、代表的な項目を網羅することが難しかったため、次年度は、今回取り上げることができなかった項目に関する周知を考えていく。具体的には、性的マイノリティなどを検討している。
A	
A	

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

	取組結果から、プランの推進へ効果があったと考えます。 次年度以降も、視点を意識した取組の継続とともに新たな気づきを期待します。

〈2023年度〉

ずし男女平等参画プラン2030　推進計画・実施状況報告書

担当課	学校教育課	整理番号	6
基本目標	Ⅰ　男女平等参画及び多様性を尊重する社会の推進に向けた意識づくり		
施策の方向	2 男女平等、多様性尊重に向けた教育の推進		
具体的な施策	多様な性を尊重する意識を育てる教育の推進		
内容	多様な性を理解するための意識啓発を図るとともに、多様な性を尊重する意識を育てる教育に努めます。		

事業名	性教育	当初 予算額　　千円
事業の目的	性について正しい知識を持ち理解を深められるようにする。	

【計画】

具体的な施策に対する事業の内容

PRポイント・意気込み	視点１	視点２
	1 ☑	ア ☑　イ ☑
	2 ☐	ア ☐　イ ☐
	3 ☐	ア ☐　イ ☐
	4 ☐	ア ☐　イ ☐
	5 ☐	ア ☐　イ ☐
	6 ☐	ア ☐　イ ☐

【報告】

具体的な結果
【各学校】 「性教育全体計画」を作成し、各教科の学習内容と関連させながら実施した。 ・小学校生活（「身近な人々との接し方」等） ・小学校理科（「動物の誕生」等） ・小学校体育（「体の発育・発達」等） ・中学校保健体育（「心身の機能の発達と心の健康」等）

３段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
B	各校で児童生徒の実態に応じた性教育を各教科指導の中で実施していく。

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

	次年度以降は、各学校での顕著な取組例があれば報告をお願いします。

〈2023年度〉

ずし男女平等参画プラン2030　推進計画・実施状況報告書

担当課	学校教育課	整理番号	7
基本目標	Ⅰ　男女平等参画及び多様性を尊重する社会の推進に向けた意識づくり		
施策の方向	2 男女平等、多様性尊重に向けた教育の推進		
具体的な施策	教職員への研修		
内容	性別にとらわれない個人の人権を基盤にした人権教育のための研修を行い、教職員の男女平等及び多様性尊重意識の啓発に努めます。		

事業名	人権教育研修会	当初 予算額　　千円
事業の目的	人権教育推進のための必要な知識を正しく理解するとともに、人間尊重の精神を基盤とした人権感覚の涵養を図る。	

【計画】　　【報告】

具体的な施策に対する事業の内容	具体的な結果
	人権教育研修会の開催 テーマ　　『人権教育ワークショップ「知る、感じる、考える」～子どもに関する人権課題～』 対　象　　・会場校教職員 　　・各学校人権教育担当者 場　所　　池子小学校（会場は持ち回り） 講　師　　湘南三浦教育事務所指導主事２名 参加者数　31名 評　価　　3.7（４段階評価）

PRポイント・意気込み	視点１	視点２	３段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
	1 ☑	ア ☑　イ ☑	B	参加者に即した研修会となるようテーマ設定した上で実施していく。
	2 ☑	ア ☑　イ ☑	B	
	3 ☑	ア ☑　イ ☑	B	
	4 ☐	ア ☐　イ ☐		
	5 ☐	ア ☐　イ ☐		
	6 ☐	ア ☐　イ ☐		

↑【評価】A：効果があった
　　B：一定の効果があった
　　C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

	取組結果から、プランの推進へ一定の効果があったと考えます。 次年度以降も、視点を意識した取組の継続とともに新たな気づきを期待します。

〈2023年度〉

ずし男女平等参画プラン2030　推進計画・実施状況報告書

担当課	市民協働課	整理番号	8
基本目標	Ⅱ　あらゆる分野への男女平等参画の促進		
施策の方向	1 政策、方針決定の場への女性の参画促進		
具体的な施策	審議会等への女性の参加促進		
内容	市が設置する審議会等への女性委員登用を積極的に推進します。また、定期的に登用状況について調査します。		

事業名	男女平等参画プラン推進事業	当初 予算額　5,814 千円
事業の目的	すべての人が平等に参加できる男女平等参画社会を実現する。	

【計画】

具体的な施策に対する事業の内容

PRポイント・意気込み	視点１	視点２
	1 □	ア □　イ □
	2 □	ア □　イ □
	3 ☑	ア ☑　イ ☑
	4 □	ア □　イ □
	5 □	ア □　イ □
	6 □	ア □　イ □

【報告】

具体的な結果
「逗子市審議会等への女性の参加促進に関する要綱」に基づき、委員数の40パーセント以上を女性の委員にするよう努めるよう、調査の依頼時に周知した。 令和５年度調査結果：審議会数80　総委員数739名 うち女性委員数221名　比率29.9%

３段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
	次年度以降も継続して周知します。
B	

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

	取組結果から、プランの推進へ一定の効果があったと考えます。 次年度以降も、視点を意識した取組の継続とともに新たな気づきを期待します。

〈2023年度〉

ずし男女平等参画プラン2030　推進計画・実施状況報告書

担当課	職員課	整理番号	9
基本目標	Ⅱ　あらゆる分野への男女平等参画の促進		
施策の方向	1 政策、方針決定の場への女性の参画促進		
具体的な施策	市女性職員の管理職の登用		
内容	女性管理職の確保を念頭においた人材育成を行い、女性管理職の登用を推進します。		

事業名	人事管理経費	当初 予算額　0 千円
事業の目的	男女共同参画による市政運営を推進する。	

【計画】　【報告】

具体的な施策に対する事業の内容	具体的な結果
	管理的地位にある職員に占める女性職員の割合は16.1%であった。

PRポイント・意気込み	視点１	視点２	３段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
	1 ☐	ア ☐ イ ☐		引き続き、特定事業主行動計画に基づき、女性管理職の登用を推進する。
	2 ☑	ア ☑ イ ☑	B	
	3 ☑	ア ☑ イ ☑	B	
	4 ☑	ア ☑ イ ☑	B	
	5 ☐	ア ☐ イ ☐		
	6 ☐	ア ☐ イ ☐		

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

	取組結果から、プランの推進へ一定の効果があったと考えます。 次年度以降も、視点を意識した取組の継続とともに新たな気づきを期待します。

〈2023年度〉

ずし男女平等参画プラン2030　推進計画・実施状況報告書

担当課	市民協働課	整理番号	10
基本目標	Ⅱ　あらゆる分野への男女平等参画の促進		
施策の方向	2 地域活動、社会活動における男女平等参画の促進		
具体的な施策	自治会等の方針決定の場への女性の登用		
内容	住民自治協議会や自治会、町内会等の方針決定の場への女性の積極的登用を促進します。		

事業名	地域自治システム推進事業	当初 予算額　2,916 千円
事業の目的	役員会など方針決定の場への女性の登用	

【計画】

具体的な施策に対する事業の内容

PRポイント・意気込み	視点１	視点２
	1 ☐	ア ☐　イ ☐
	2 ☐	ア ☐　イ ☐
	3 ☑	ア ☑　イ ☐
	4 ☐	ア ☐　イ ☐
	5 ☐	ア ☐　イ ☐
	6 ☐	ア ☐　イ ☐

【報告】

具体的な結果
住民自治協議会連絡会（全６回）や自治会・町内会意見交換会（全１回）の機会に、方針決定の場への女性の積極的登用について周知した。

３段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
	引き続き会議等の機会に女性の積極的登用を促進していく。
B	

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

	プランの数値目標における「自治会、地域団体等の女性役員、リーダーの割合」の値は、2022年度の22.08%と比較して2023年度は19.23%と下がっているが、評価はBとなっている。次年度以降はその数値を踏まえた評価理由を記載するようお願いします。

〈2023年度〉

ずし男女平等参画プラン2030　推進計画・実施状況報告書

担当課	市民協働課	整理番号	11
基本目標	Ⅱ　あらゆる分野への男女平等参画の促進		
施策の方向	2 地域活動、社会活動における男女平等参画の促進		
具体的な施策	家庭内における男女平等参画の促進		
内容	家庭内における家事、育児、介護などへの男女平等参画を推進します。		

事業名	男女平等参画プラン推進事業	当初 予算額　5,814 千円
事業の目的	すべての人が平等に参加できる男女平等参画社会を実現する。	

【計画】

具体的な施策に対する事業の内容

PRポイント・意気込み	視点１	視点２
	1 ☐	ア ☐　イ ☐
	2 ☑	ア ☑　イ ☑
	3 ☐	ア ☐　イ ☐
	4 ☑	ア ☑　イ ☑
	5 ☐	ア ☐　イ ☐
	6 ☐	ア ☐　イ ☐

【報告】

具体的な結果
１.講座「みんなで応援！令和モデルの育児と仕事」の開催（参加者数12名） ２.「逗子市男女平等参画及び多様性を尊重する社会を推進する条例」の啓発パンフレットの配架（配架場所数５（交流センター、沼間・小坪コミュニティーセンター、市役所内２箇所）））

３段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
	次年度以降、市HPを活用した市民や事業者向けの啓発を検討します。
B	
B	

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

	啓発方法について、LINEの配信や、図書館・体験学習施設スマイル（カフェちょこっと、ほっとスペース）への配架の検討をお願いします。

〈2023年度〉

ずし男女平等参画プラン2030　推進計画・実施状況報告書

担当課	学校教育課	整理番号	11
基本目標	Ⅱ　あらゆる分野への男女平等参画の促進		
施策の方向	2 地域活動、社会活動における男女平等参画の促進		
具体的な施策	家庭内における男女平等参画の促進		
内容	家事、育児、介護、就労体験などの体験的な学習活動の中で、性別による役割分担意識にとらわれることのない学習を推進します。		

事業名	キャリア教育	当初 予算額　　千円
事業の目的	一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す	

【計画】

具体的な施策に対する事業の内容

PRポイント・意気込み	視点１	視点２
	1 ☐	ア ☐　イ ☐
	2 ☑	ア ☑　イ ☑
	3 ☑	ア ☑　イ ☑
	4 ☑	ア ☑　イ ☑
	5 ☐	ア ☐　イ ☐
	6 ☐	ア ☐　イ ☐

【報告】

具体的な結果
・市内中学校で「職業体験」や「キャリアフェスティバル」を実施 ・市内全児童生徒の「キャリアパスポート」を作成し、次年度へ申し送り

３段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
	各教科及び特別活動の学習内容と関連させながら適宜実施していく。
B	
B	
B	

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

	取組結果から、プランの推進へ一定の効果があったと考えます。 次年度以降も、視点を意識した取組の継続とともに新たな気づきを期待します。

〈2023年度〉

ずし男女平等参画プラン2030　推進計画・実施状況報告書

担当課	防災安全課	整理番号	12
基本目標	Ⅲ　誰もが安心して暮らせるまちづくり		
施策の方向	1 多様性に配慮したまちづくり		
具体的な施策	防災の分野における多様性の推進		
内容	防災分野において、多様性の視点を取り入れます。		

事業名	地域防災活動における多様性の推進	当初 予算額　0 千円
事業の目的	男女共同参画と多様性視点を生かした地域防災活動を推進する。	

【計画】

具体的な施策に対する事業の内容

PRポイント・意気込み	視点１	視点２
	1 ☑	ア ☑ イ ☑
	2 ☐	ア ☐ イ ☐
	3 ☑	ア ☑ イ ☑
	4 ☐	ア ☐ イ ☐
	5 ☐	ア ☐ イ ☐
	6 ☐	ア ☐ イ ☐

【報告】

具体的な結果
・防災士資格取得に対する補助金の2024年の運用開始に向けて、要綱改正を行った。 ・女性参画のもと、定期的（月1回程度）に避難所運営会議を行い、５小学校区において避難所運営訓練を実施した。

３段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
B	・防災士資格取得を推進し、市民全体の防災意識を高めるとともに、女性リーダーの人材発掘が期待ができる。 ・引き続き、５小学区において避難所運営訓練を実施し、男女共同参画の必要性等について、周囲・啓発を行うとともに、平成26年作成の避難所運営マニュアルの見直しについて、着手していきたい。
B	

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

	取組結果から、プランの推進へ一定の効果があったと考えます。 次年度以降も、視点を意識した取組の継続とともに新たな気づきを期待します。

〈2023年度〉

ずし男女平等参画プラン2030　推進計画・実施状況報告書

担当課	防災安全課	整理番号	13
基本目標	Ⅲ　誰もが安心して暮らせるまちづくり		
施策の方向	1 多様性に配慮したまちづくり		
具体的な施策	多様性尊重の視点に立った災害時の対応		
内容	避難所における多様な性や男女の違いに配慮した災害備蓄品や環境等の整備を行い、運用において配慮をします。		

事業名	多様性尊重の視点を取り入れた避難所運営	当初 予算額　101 千円
事業の目的	災害時において、あらゆるニーズに配慮した避難所運営となるよう体制を構築する。	

【計画】

具体的な施策に対する事業の内容

PRポイント・意気込み	視点１	視点２
	1 ☑	ア ☑ イ ☑
	2 ☑	ア ☑ イ ☑
	3 ☑	ア ☑ イ ☐
	4 ☐	ア ☐ イ ☐
	5 ☐	ア ☐ イ ☐
	6 ☐	ア ☐ イ ☐

【報告】

具体的な結果
・生理用品を購入し、備蓄を行った。 ・早期避難所の設営に関わる人員を男女同数とし、一方の性別に偏らない配置とした。

３段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
A	避難所においては、多様な性や男女の違いに配慮した災害備品や環境等の整備が必要であることから、生理用品のほか、妊産婦に対する生活用品や、防犯用ブザー等の備蓄についても進めていきたい。
A	
A	

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

	取組結果から、プランの推進へ効果があったと考えます。 次年度以降も、視点を意識した取組の継続とともに新たな気づきを期待します。

〈2023年度〉

ずし男女平等参画プラン2030　推進計画・実施状況報告書

担当課	市民協働課	整理番号	14①
基本目標	Ⅲ　誰もが安心して暮らせるまちづくり		
施策の方向	1 多様性に配慮したまちづくり		
具体的な施策	多様な性への理解		
内容	パートナーシップ宣誓制度の周知をし、制度の改善や利用拡大を図ります。		

事業名	男女平等参画プラン推進事業	当初 予算額　5,814 千円
事業の目的	すべての人が平等に参加できる男女平等参画社会を実現する。	

【計画】

具体的な施策に対する事業の内容

PRポイント・意気込み	視点１	視点２	３段階評価
	1 ☑	ア ☑ イ ☑	B
	2 ☐	ア ☐ イ ☐	
	3 ☐	ア ☐ イ ☐	
	4 ☐	ア ☐ イ ☐	
	5 ☐	ア ☐ イ ☐	
	6 ☑	ア ☑ イ ☑	B

【報告】

具体的な結果
1.逗子市パートナーシップ宣誓制度の実施 2.パートナーシップ宣誓制度手続きガイドブックをHP及び市民協働課にて配布 3.パートナーシップ制度相互利用連絡会参加　２回 4.パートナーシップ制度の協定締結に向けた協議会参加　２回

気付き・次年度以降へ向けて
次年度以降もパートナーシップ宣誓制度の周知に取り組みます。また、相互利用や都市間連携の協定締結自治体を増やすなど制度の改善に向けた取組を継続して実施します。

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

	取組結果から、プランの推進へ一定の効果があったと考えます。 次年度以降も、視点を意識した取組の継続とともに新たな気づきを期待します。

〈2023年度〉

ずし男女平等参画プラン2030　推進計画・実施状況報告書

担当課	市民協働課	整理番号	14②
基本目標	Ⅲ　誰もが安心して暮らせるまちづくり		
施策の方向	1 多様性に配慮したまちづくり		
具体的な施策	多様な性への理解		
内容	アンケートや申請書等から不要な性別欄を削除したり、統計調査の質問項目から削除したりすることなどを検討します。		

事業名	男女平等参画プラン推進事業	当初 予算額　5,814 千円
事業の目的	すべての人が平等に参加できる男女平等参画社会を実現する。	

【計画】

具体的な施策に対する事業の内容

PRポイント・意気込み	視点１	視点２
	1 ☑	ア ☑　イ ☑
	2 ☐	ア ☐　イ ☐
	3 ☐	ア ☐　イ ☐
	4 ☐	ア ☐　イ ☐
	5 ☐	ア ☐　イ ☐
	6 ☐	ア ☐　イ ☐

【報告】

具体的な結果
他課からのアンケート調査等の質問項目の候補について相談を受けた際に、「その他」を加えることなどをその都度助言した。

３段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
B	次年度以降、申請書等の性別欄を把握するための調査に向け準備します。

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

	取組結果から、プランの推進へ一定の効果があったと考えます。 次年度以降も、視点を意識した取組の継続とともに新たな気づきを期待します。

〈2023年度〉

ずし男女平等参画プラン2030　推進計画・実施状況報告書

担当課	社会福祉課	整理番号	15
基本目標	Ⅲ　誰もが安心して暮らせるまちづくり		
施策の方向	2 障がい者、生活困窮者への支援		
具体的な施策	女性の経済的自立への支援		
内容	非正規雇用者は女性の割合が高く、社会情勢などによる影響を受けて経済的に困窮することは男性より女性に多い傾向があるため、女性の経済的自立への支援を行います。		

事業名	生活困窮者自立支援事業	当初 予算額　21,280 千円
事業の目的	現に経済的に困窮し、生活保護に至る前段階の者に対し、自立支援策の提供を行う	

【計画】

具体的な施策に対する事業の内容

PRポイント・意気込み	視点１	視点２
	1 ☑	ア ☑　イ ☐
	2 ☑	ア ☑　イ ☐
	3 ☑	ア ☑　イ ☐
	4 ☑	ア ☑　イ ☐
	5 ☐	ア ☐　イ ☐
	6 ☐	ア ☐　イ ☐

【報告】

具体的な結果
1.生活困窮者自立相談支援事業（社協委託事業） ・新規相談件数49件（女性25件・男性24件） ・継続相談件数37件（女性17件・男性20件） ・プラン作成件数19件（女性13件・男性6件） 2.家計改善支援事業（社協委託事業） ・相談件数12件　（女性7件・男性5件）

３段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
B	・高齢女性からの相談が増えている。潜在的な要支援者は多いと思われることから、支援が必要にもかかわらず支援に結びついていない要支援者を支援に結び付けるアウトリーチ等の取組みが必要である。 ・新規相談件数49件のうち継続となっている案件が16件と、課題が長期化する傾向にある。課題が深刻化するのと比例して、解決に要する時間は長期化することから、男女問わず早めに支援に結びつける取組みが必要である。
B	
B	
B	

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

	取組結果から、プランの推進へ一定の効果があったと考えます。 次年度以降も、視点を意識した取組の継続とともに新たな気づきを期待します。

〈2023年度〉

ずし男女平等参画プラン2030　推進計画・実施状況報告書

担当課	障がい福祉課	整理番号	16
基本目標	Ⅲ　誰もが安心して暮らせるまちづくり		
施策の方向	2 障がい者、生活困窮者への支援		
具体的な施策	地域生活支援拠点等の整備		
内容	障がい者等の重度化、高齢化や、「親亡き後」を見据え、居住支援のための５つの機能（相談、緊急時の受け入れ・対応、体験の機会・場、専門的人材の確保・養成、地域の体制づくり）を備えた場所（拠点）を整備します。障がい者等の介護を行う家族等の病気や事故など「もしも」の緊急時に備えて関係機関が協力し、その生活を地域全体で支える仕組みをつくり、今の地域に安心して住み続けることができるよう、将来に対する不安の解消に努めます。		

事業名	障害者自立支援給付等支給事業	当初 予算額　967,609 千円
事業の目的	住まいの場における居宅介護などの訪問系サービスや、日中活動の場における機能訓練、就労支援などの通所系サービス、グループホームなどの居宅系サービスを提供する。	

【計画】

具体的な施策に対する事業の内容

PRポイント・意気込み	視点１	視点２	３段階評価
	1 ☑	ア ☑　イ ☑	B
	2 ☑	ア ☑　イ ☑	B
	3 ☐	ア ☐　イ ☐	
	4 ☐	ア ☐　イ ☐	
	5 ☐	ア ☐　イ ☐	
	6 ☐	ア ☐　イ ☐	

【報告】

具体的な結果
実際のサービス利用はなかった。 新規に登録した人が５人増えた。

気付き・次年度以降へ向けて
実際の利用はなかったが、制度としては一定整備されている状態といえる。 次年度以降は登録者を増やす方法等について検討していく。

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

	次年度以降は、男女平等の視点からの報告があればお願いします。

〈2023年度〉

ずし男女平等参画プラン2030　推進計画・実施状況報告書

担当課	子育て支援課	整理番号	17①
基本目標	Ⅲ　誰もが安心して暮らせるまちづくり		
施策の方向	3 子育てへの支援		
具体的な施策	父親と母親がともにする子育てのための啓発		
内容	家族形態や就労状況によらず育児情報が得られやすいことを目指し、オンラインでの子育て情報の発信に努めます。		

事業名	子育てポータルサイトえがおでの情報発信	当初 予算額　0 千円
事業の目的	逗子で子育て中の母親・父親に対して子育てしやすい環境づくりのための情報提供を行う。	

【計画】

具体的な施策に対する事業の内容

PRポイント・意気込み	視点１	視点２	３段階評価
	1 ☐	ア ☐　イ ☐	
	2 ☐	ア ☐　イ ☐	
	3 ☑	ア ☑　イ ☐	B
	4 ☑	ア ☑　イ ☐	B
	5 ☐	ア ☐　イ ☐	
	6 ☐	ア ☐　イ ☐	

【報告】

具体的な結果
ポータルサイトえがおのレイアウトを変更し、見やすく改善した。

気付き・次年度以降へ向けて
ポータルサイトえがおにおいて、さらに改善を加えて必要な手続きや情報がスムーズに得られるようにする。

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

	取組結果から、プランの推進へ一定の効果があったと考えます。 次年度以降も、視点を意識した取組の継続とともに新たな気づきを期待します。

〈2023年度〉

ずし男女平等参画プラン2030　推進計画・実施状況報告書

担当課	子育て支援課	整理番号	17②
基本目標	Ⅲ　誰もが安心して暮らせるまちづくり		
施策の方向	3 子育てへの支援		
具体的な施策	父親と母親がともにする子育てのための啓発		
内容	性別役割分担意識により母親に偏りがちな育児について、父親の育児時間の増加を促進します。		

事業名	パパママ準備クラス	当初 予算額　102 千円
事業の目的	妊娠期から身体面、精神面ともに健康に過ごせるように、臨床心理士、助産師、保健師が健康教育を行う。	

【計画】

具体的な施策に対する事業の内容

【報告】

具体的な結果
教室実施（パパママ準備クラス） 実施回数：First StepとSecond Stepの２コース４回/年 参加者数：妊婦49名、夫40名 YouTube動画作成（逗子市公式チャンネル） 生後０～４か月頃の赤ちゃんの特徴や両親の心身の変化、産後のメンタルヘルスを伝えるYouTube動画作成 （令和６年度配信予定）

PRポイント・意気込み	視点１	視点２	３段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
	1 ☐	ア ☐ イ ☐		・令和６年度より、子育てガイド作成。また母子健康手帳発行時に全ての対象者へ父親向けの育児冊子を配布。 ・パパママ準備クラスを３コース４回/年にして具体的な育児実践内容を加味する。また出産直後の回を追加する。 ・子育て関連のYouTube動画配信。
	2 ☐	ア ☐ イ ☐		
	3 ☑	ア ☑ イ ☐	B	
	4 ☑	ア ☑ イ ☐	B	
	5 ☐	ア ☐ イ ☐		
	6 ☐	ア ☐ イ ☐		

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

	取組結果から、プランの推進へ一定の効果があったと考えます。 次年度以降も、視点を意識した取組の継続とともに新たな気づきを期待します。

〈2023年度〉

ずし男女平等参画プラン2030　推進計画・実施状況報告書

担当課	子育て支援課	整理番号	18
基本目標	Ⅲ　誰もが安心して暮らせるまちづくり		
施策の方向	3 子育てへの支援		
具体的な施策	子育て施設の父親の利用		
内容	父親が育児に関わる機会が増えるよう子育て施設の父親の利用向上を目指します。		

事業名	子育て支援センター運営事業	当初 予算額　19,146 千円
事業の目的	地域全体で子育てを支援する基盤の形成を図るため、地域で孤立しがちで、子育てに悩みや不安をもつ母親たちに対して、身近で気軽に利用できる「支援拠点」の役割を果たすことによって、母親たちの孤立感・育児不安の軽減、解消を図るとともに、地域での育児をゆとりをもって楽しめる環境づくりを進めていく。	

【計画】

具体的な施策に対する事業の内容

PRポイント・意気込み	視点１	視点２	３段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
	1 ☐	ア ☐ イ ☐		育児休業を取得し育児に積極的な父親が増えている。一方で育児にストレスを感じている父親もいる。 このため、座談会形式で父親同士が気軽に話せ、育児中の父親同士が悩み事などを語り合うことで、ピアサポート的な支援を目的としている。 その中で、父親が僅かな休息（レスパイト）をとり、息抜きを図る効果もある。 また、支援員が相談等に応じることもあり、個別の対応も行っている。 一層の周知を図り、ストレスを抱える父親の受け皿となるように努める。
	2 ☐	ア ☐ イ ☐		
	3 ☑	ア ☑ イ ☐	B	
	4 ☑	ア ☑ イ ☐	B	
	5 ☐	ア ☐ イ ☐		
	6 ☐	ア ☐ イ ☐		

【報告】

具体的な結果
イベント：お父さんの日 実施内容：父親同士の育児に関する情報交換、またスタッフによる子育ての悩み相談を実施している。 参加対象：父親とその子ども 開催日時：毎月第１、第３土曜日 実施回数：24回 参加者数：計　149組　316人

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

	取組結果から、プランの推進へ一定の効果があったと考えます。 次年度以降も、視点を意識した取組の継続とともに新たな気づきを期待します。

〈2023年度〉

ずし男女平等参画プラン2030　推進計画・実施状況報告書

担当課	社会福祉課	整理番号	19
基本目標	Ⅲ　誰もが安心して暮らせるまちづくり		
施策の方向	4 生涯を通じた心身の健康づくり		
具体的な施策	女性の健康寿命を延ばすための介護予防事業		
内容	要支援、要介護認定を受けていない65歳以上の高齢者（元気高齢者）の割合を増やすためには、高齢者全体の健康寿命の延伸が必要です。平均寿命が健康寿命であるとは限らず、日常生活に制限が生じる不健康な期間が男性より女性の方が長いことから、不健康な期間を短縮する取組として介護予防事業を行うにあたり、高齢女性の特性に十分配慮した取組を行います。		

事業名	・自立支援型介護予防生活支援サービス事業 ・一般介護予防事業	当初 予算額　32,117 千円
事業の目的	要支援・要介護状態になる恐れのある高齢者等に対して、要支援・要介護状態を防ぐための多角的な支援を行う。	

【計画】

具体的な施策に対する事業の内容

PRポイント・意気込み	視点１	視点２
	1 ☑	ア ☑　イ ☐
	2 ☑	ア ☑　イ ☐
	3 ☐	ア ☐　イ ☐
	4 ☑	ア ☑　イ ☐
	5 ☑	ア ☑　イ ☐
	6 ☐	ア ☐　イ ☐

【報告】

具体的な結果
１.身体機能向上を目的とした運動器口腔栄養の複合型短期集中の通所型サービスC　72回　延参加人数174人(内女性144人) ２.一般介護予防事業対象者向け事業 ①運動器の機能向上教室（ベーシックコース）30回　延384人（内女性214人） ②運動器の機能向上教室（アクティブコース）11回　延140人（内女性65人） ③運動器の機能向上教室（水中運動教室）12回　延156人（内女性110人） ④認知症予防プログラム（脳活・筋活講座）40回　延481人（内女性346人） ３.フレイルチェック測定会　11回　延109人（内女性66人）

３段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
B	本市の健康寿命、平均寿命については、男性・女性いずれも県・全国平均より高い（令和２年市区町村別生命表及び神奈川県提供資料から）ものの、女性の平均寿命88.3歳、健康寿命84.3歳（差異4.0歳）と支援等が必要な期間が男性の２倍程度あることから、当該期間を少しでも短縮するために、早い年代からその人に応じた健康寿命延伸、介護予防の取り組みを提供できる体制を目指していく。
B	
B	
B	

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

	取組結果から、プランの推進へ一定の効果があったと考えます。 次年度以降も、視点を意識した取組の継続とともに新たな気づきを期待します。

〈2023年度〉

ずし男女平等参画プラン2030　推進計画・実施状況報告書

担当課	子育て支援課	整理番号	20
基本目標	Ⅲ　誰もが安心して暮らせるまちづくり		
施策の方向	4 生涯を通じた心身の健康づくり		
具体的な施策	生涯を通じた女性の健康支援		
内容	性と生殖に関する健康と権利（リプロダクティブ・ヘルス/ライツ）に関する正しい知識の普及に努めるとともに、生涯を通じて適切な健康づくりができるよう、相談体制の整備等を行います。		

事業名	性と健康の相談（相談事業）、不妊治療費・不育症治療費助成	当初 予算額　2,507 千円
事業の目的	プレコンセプションケアを含め、男女問わず性や生殖に関する健康支援を総合的に推進し、ライフステージに応じた切れ目のない健康支援を実施する	

【計画】

具体的な施策に対する事業の内容

PRポイント・意気込み	視点１	視点２
	1　☐	ア ☐　イ ☐
	2　☑	ア ☑　イ ☐
	3　☐	ア ☐　イ ☐
	4　☐	ア ☐　イ ☐
	5　☑	ア ☑　イ ☐
	6　☐	ア ☐　イ ☐

【報告】

具体的な結果
・個別対応では、思春期の体重管理、交際について等の相談、面接等を実施した。 ・令和５年度不妊治療助成申請件数　34件

３段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
	不妊治療の保険適用化に伴い、従来の特定不妊治療助成事業が終了したが、新制度になった後もこれまでの申請件数と同程度の申請があった。申請者からありがたいという感謝の声を聞くことも多く、一定の効果を感じている。
B	
B	

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

	取組結果から、プランの推進へ一定の効果があったと考えます。 次年度以降も、視点を意識した取組の継続とともに新たな気づきを期待します。

〈2023年度〉

ずし男女平等参画プラン2030　推進計画・実施状況報告書

担当課	学校教育課	整理番号	21
基本目標	Ⅲ　誰もが安心して暮らせるま ちづくり		
施策の方向	4 生涯を通じた心身の健康づくり		
具体的な施策	発達段階に応じた性教育の推進		
内容	性について正しい知識を持ち理解を深めるため、子どもの発達段階に応じた性教育の推進に努めます。		

事業名	性教育	当初 予算額　　千円
事業の目的	性について正しい知識を持ち理解を深められるようにする。	

【計画】

具体的な施策に対する事業の内容

PRポイント・意気込み	視点１	視点２
	1 ☑	ア ☑　イ ☑
	2 ☐	ア ☐　イ ☐
	3 ☐	ア ☐　イ ☐
	4 ☐	ア ☐　イ ☐
	5 ☐	ア ☐　イ ☐
	6 ☐	ア ☐　イ ☐

【報告】

具体的な結果
【各学校】 「性教育全体計画」を作成し、各教科の学習内容と関連させながら実施した。 ・小学校生活（「身近な人々との接し方」等） ・小学校理科（「動物の誕生」等） ・小学校体育（「体の発育・発達」等） ・中学校保健体育（「心身の機能の発達と心の健康」等）

３段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
B	各校で児童生徒の実態に応じた性教育を各教科指導の中で実施していく。

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

	次年度以降は、各学校での顕著な取組例があれば報告をお願いします。

〈2023年度〉

ずし男女平等参画プラン2030　推進計画・実施状況報告書

担当課	保育課	整理番号	21
基本目標	Ⅲ　誰もが安心して暮らせるまちづくり		
施策の方向	4 生涯を通じた心身の健康づくり		
具体的な施策	発達段階に応じた性教育の推進		
内容	性について正しい知識を持ち理解を深めるため、子どもの発達段階に応じた性教育の推進に努めます。		

事業名		当初 予算額　0 千円
事業の目的		

【計画】

具体的な施策に対する事業の内容

PRポイント・意気込み	視点１	視点２
	1 ☑	ア ☑ イ ☑
	2 ☐	ア ☐ イ ☐
	3 ☐	ア ☐ イ ☐
	4 ☐	ア ☐ イ ☐
	5 ☐	ア ☐ イ ☐
	6 ☐	ア ☐ イ ☐

【報告】

具体的な結果
着替えやプール運動の際に、「水着で隠れている部分は、見ようとすることも見せることも、触ろうとすることも触らせることもいけないこと」と子どもたちと話し、日常生活の中で正しい知識を持てるように工夫した。 職員にも、保育専門誌に掲載されている乳幼児期の性教育に関係する内容を共有した。

３段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
A	次年度は今年度実施した内容に加え、絵本を使い、もっと身近に子どもたちの理解を深め、正しい知識を持てるように工夫していく。

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

	取組結果から、プランの推進へ効果があったと考えます。 次年度以降も、視点を意識した取組の継続とともに新たな気づきを期待します。

〈2023年度〉

ずし男女平等参画プラン2030　推進計画・実施状況報告書

担当課	経済観光課	整理番号	22
基本目標	Ⅳ　誰もが活躍できるきるまちづくり		
施策の方向	1 雇用における男女平等の実現		
具体的な施策	雇用における男女平等の推進		
内容	性別等にかかわらず募集、採用がされるなど、雇用の分野における男女平等を推進します。		

事業名	労政事業	当初 予算額　880 千円
事業の目的	勤労者に対する各種支援	

【計画】

具体的な施策に対する事業の内容

PRポイント・意気込み	視点１	視点２
	1 ☐	ア ☐　イ ☐
	2 ☑	ア ☑　イ ☑
	3 ☑	ア ☑　イ ☑
	4 ☑	ア ☑　イ ☑
	5 ☐	ア ☐　イ ☐
	6 ☐	ア ☐　イ ☐

【報告】

具体的な結果
来庁者の目に触れやすい場所にハローワークや男女平等に関するチラシ等を配架し、周知や啓発に努めた。雇用における男女平等の推進を図ることで、女性の自立支援に寄与した。

３段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
	ハローワークは庁内ラックの他に子育て支援課や障がい福祉課などへも情報共有し、情報源として活用していきたい。
B	
B	
B	

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

	次年度以降も、世代、年齢関係なく幅広く啓発をお願いします。

〈2023年度〉

ずし男女平等参画プラン2030　推進計画・実施状況報告書

担当課	職員課	整理番号	23
基本目標	Ⅳ　誰もが活躍できるまちづくり		
施策の方向	1 雇用における男女平等の実現		
具体的な施策	市職員の男女平等の推進		
内容	市職員の採用、昇進等は性別等にかかわらず能力によって行い、誰もが活躍できる職場づくりを推進します。		

事業名	人事管理経費	当初 予算額　0 千円
事業の目的	人事の適正配置	

【計画】

具体的な施策に対する事業の内容

【報告】

具体的な結果
公正な職員採用、昇進等ができた。

PRポイント・意気込み	視点１	視点２	３段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
	1 ☑	ア ☑ イ ☑	B	引き続き、公正な職員採用、昇進等の推進をする。
	2 ☐	ア ☐ イ ☐		
	3 ☑	ア ☑ イ ☑	B	
	4 ☐	ア ☐ イ ☐		
	5 ☐	ア ☐ イ ☐		
	6 ☐	ア ☐ イ ☐		

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

	公正な職員採用、昇進等ができたにも関わらず、3段階評価をBとしているので、次年度以降は理由を記載するようお願いします。

〈2023年度〉

ずし男女平等参画プラン2030　推進計画・実施状況報告書

担当課	経済観光課	整理番号	24
基本目標	Ⅳ　誰もが活躍できるきるまちづくり		
施策の方向	1 雇用における男女平等の実現		
具体的な施策	職場におけるあらゆる性差別解消の促進		
内容	職場における性差別の解消を進めるよう事業者への啓発を行います。		

事業名	労政事業	当初 予算額　880 千円
事業の目的	勤労者に対する各種支援	

【計画】

具体的な施策に対する事業の内容

【報告】

具体的な結果
来庁者の目に触れやすい場所に事業者向けのチラシを配架し、事業者への啓発に努めた。商工会や会員事業所等と連携した支援を進めた。

PRポイント・意気込み	視点１	視点２	３段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
	1 ☑	ア ☑　イ ☑	B	今後も商工会や関係機関と連携しながら、事業者への周知啓発に努めていきたい。
	2 ☑	ア ☑　イ ☑	B	
	3 ☑	ア ☑　イ ☑	B	
	4 ☑	ア ☑　イ ☑	B	
	5 ☐	ア ☐　イ ☐		
	6 ☐	ア ☐　イ ☐		

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

	次年度以降も、世代、年齢関係なく幅広く啓発をお願いします。

〈2023年度〉

ずし男女平等参画プラン2030　推進計画・実施状況報告書

担当課	経済観光課	整理番号	25
基本目標	Ⅳ　誰もが活躍できるきるまちづくり		
施策の方向	1 雇用における男女平等の実現		
具体的な施策	労働条件の改善に対する支援		
内容	事業者に対し、労働関連法令及び各種支援制度等を周知し、労働者の適切な処遇や労働条件の向上に向けた情報提供に努めます。		

事業名	労政事業	当初 予算額　880 千円
事業の目的	勤労者に対する各種支援	

【計画】

具体的な施策に対する事業の内容

【報告】

具体的な結果
来庁者の目に触れやすい場所に、労働に関するポスターやパンフレットを掲示・配架し、労働者の適切な処遇や労働条件の向上に向けた情報提供に努めた。 また、令和６年３月22日（金）にかながわ労働センターと共催で街頭労働相談を市役所１階ロビーにて開催し、性別に関係なく幅広い労働者が気軽に相談できる機会を提供した。

PRポイント・意気込み	視点１	視点２	３段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
	1 □	ア □　イ □		街頭労働相談において、労働相談に関するチラシやパンフレットの配布も行った。今後も労働者の適切な処遇や労働条件の向上に向けて、関係機関からのポスターやパンフレットを掲示し情報提供を進めていく。
	2 ☑	ア ☑　イ ☑	B	
	3 ☑	ア ☑　イ ☑	B	
	4 ☑	ア ☑　イ ☑	B	
	5 □	ア □　イ □		
	6 □	ア □　イ □		

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

	次年度以降も、世代、年齢関係なく幅広く啓発をお願いします。

〈2023年度〉

ずし男女平等参画プラン2030　推進計画・実施状況報告書

担当課	経済観光課	整理番号	26
基本目標	Ⅳ　誰もが活躍できるきるまちづくり		
施策の方向	2 女性が活躍する環境づくり		
具体的な施策	就業、再就職への支援		
内容	情報の収集や提供を行い、女性の就業、再就職に対し支援を行います。		

事業名	労政事業	当初 予算額　880 千円
事業の目的	勤労者に対する各種支援	

【計画】　【報告】

具体的な施策に対する事業の内容	具体的な結果
	来庁者の目に触れやすい場所に、労働や男女平等に関するポスターやパンフレットを掲示・配架することで周知に努めた。また、ハローワークの庁内への配架により、採用情報等の周知に努めた。

PRポイント・意気込み	視点１	視点２	３段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
	1 □	ア □　イ □		ハローワークは庁内ラックのほか、子育て支援課や障がい福祉課など関係各課へ情報共有することにより、女性の就業支援などの情報源として活用していきたい。
	2 ☑	ア ☑　イ ☑	B	
	3 ☑	ア ☑　イ ☑	B	
	4 ☑	ア ☑　イ ☑	B	
	5 □	ア □　イ □		
	6 □	ア □　イ □		

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

	次年度以降も、世代、年齢関係なく幅広く啓発をお願いします。

〈2023年度〉

ずし男女平等参画プラン2030　推進計画・実施状況報告書

担当課	経済観光課	整理番号	27
基本目標	Ⅳ　誰もが活躍できるきるまちづくり		
施策の方向	2 女性が活躍する環境づくり		
具体的な施策	女性の起業への支援		
内容	創業支援セミナーを開催し、女性の起業に対し支援を行います。		

事業名	逗子市商工会助成	当初 予算額　18,965 千円
事業の目的	市内商工業の振興等を図ることを目的に設立された団体を支援する	

【計画】

具体的な施策に対する事業の内容

PRポイント・意気込み	視点１	視点２
	1 ☐	ア ☐　イ ☐
	2 ☑	ア ☑　イ ☑
	3 ☑	ア ☑　イ ☑
	4 ☑	ア ☑　イ ☑
	5 ☐	ア ☐　イ ☐
	6 ☐	ア ☐　イ ☐

【報告】

具体的な結果
創業スクールを対面で実施するほか、オンデマンド配信動画でも視聴できるものとし、時間の制約がないことから幅広く参加いただけた。創業スクールの参加者数は男性60名、女性83名と女性が58%を占めていた。対面での参加者数は67名、オンデマンド動画視聴者数は76名とオンデマンドが53%を占めていた。

３段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
	年齢や性別に関わらず幅広く参加することのできる創業スクール等を通して、女性の起業家の比率を高めていくなど女性の起業に対する支援を行っていきたい。
B	
B	
B	

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

	次年度以降も、世代、年齢関係なく幅広く啓発をお願いします。

〈2023年度〉

ずし男女平等参画プラン2030　推進計画・実施状況報告書

担当課	市民協働課	整理番号	28
基本目標	Ⅳ　誰もが活躍できるきるまちづくり		
施策の方向	3 ワーク・ライフ・バランスの普及、啓発		
具体的な施策	育児、介護、看護休業取得の促進		
内容	ワーク・ライフ・バランスが実現できるよう、育児、介護、看護休業制度について普及を図ります。		

事業名	男女平等参画プラン推進事業	当初予算額　5,814 千円
事業の目的	すべての人が平等に参加できる男女平等参画社会を実現する。	

【計画】

具体的な施策に対する事業の内容

【報告】

具体的な結果
講座「みんなで応援！令和モデルの育児と仕事」の開催（参加者数12名）

PRポイント・意気込み	視点１	視点２	３段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
	1 ☐	ア ☐ イ ☐		次年度以降、市HPを活用した市民や事業者向けの啓発を検討します。
	2 ☑	ア ☑ イ ☑	B	
	3 ☑	ア ☑ イ ☑	B	
	4 ☑	ア ☑ イ ☑	B	
	5 ☐	ア ☐ イ ☐		
	6 ☐	ア ☐ イ ☐		

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

	次年度以降も、世代、年齢関係なく幅広く啓発をお願いします。

〈2023年度〉

ずし男女平等参画プラン2030　推進計画・実施状況報告書

担当課	職員課	整理番号	29
基本目標	Ⅳ　誰もが活躍できるまちづくり		
施策の方向	3 ワーク・ライフ・バランスの普及、啓発		
具体的な施策	育児休業取得の推進		
内容	市の男性職員の１ヶ月間を超える育児休業の取得を推進します。		

事業名	人事管理経費	当初 予算額　0 千円
事業の目的	育児休業の取得の推進	

【計画】

具体的な施策に対する事業の内容

【報告】

具体的な結果
特定事業主行動計画に基づき、育児休業の取得を推進した。（令和５年度の取得率75%）男性職員からの相談があった場合には、個別に相談を受け、スケジュールの確認や適切な休暇の案内等の対応を行った。

PRポイント・意気込み	視点１	視点２	３段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
	1 ☐	ア ☐ イ ☐		引き続き、男性職員の１月間を超える育児休業取得率の向上を推進していく。
	2 ☑	ア ☑ イ ☑	B	
	3 ☐	ア ☐ イ ☐		
	4 ☑	ア ☑ イ ☑	B	
	5 ☑	ア ☑ イ ☑	B	
	6 ☐	ア ☐ イ ☐		

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

	次年度以降は、取得率の増減について、理由の報告をお願いします。

〈2023年度〉

ずし男女平等参画プラン2030　推進計画・実施状況報告書

担当課	市民協働課	整理番号	30
基本目標	Ⅳ　誰もが活躍できるきるまちづくり		
施策の方向	3 ワーク・ライフ・バランスの普及、啓発		
具体的な施策	様々な地域活動における参加機会の充実		
内容	誰もが等しくスポーツや地域活動、ボランティアに参加できるよう、参加の機会を提供します。		

事業名	地域活動センター運営事業ほか	当初 予算額　10,123 千円
事業の目的	すべての人が平等に参加できる地域活動、ボランティア参加の機会を提供	

【計画】

具体的な施策に対する事業の内容

PRポイント・意気込み	視点１	視点２
	1 ☐	ア ☐　イ ☐
	2 ☑	ア ☑　イ ☐
	3 ☐	ア ☐　イ ☐
	4 ☐	ア ☐　イ ☐
	5 ☐	ア ☐　イ ☐
	6 ☐	ア ☐　イ ☐

【報告】

具体的な結果
地域活動センターや、コミュニティセンター、市民交流センターが主催するイベントの実施や地域活動の場の提供など、市民が行う社会活動等への参加の機会を提供した。 また、市の後援する事業については、市の広報板への提示など、周知にも協力した。

３段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
	引き続きすべての人が平等に参加できる地域活動、ボランティア参加の機会を提供していく。
B	

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

	次年度以降も、世代、年齢関係なく幅広く啓発をお願いします。 また、次年度以降は、男女平等の視点で意識した点があれば報告をお願いします。

〈2023年度〉

ずし男女平等参画プラン2030　推進計画・実施状況報告書

担当課	文化スポーツ課	整理番号	30
基本目標	Ⅳ　誰もが活躍できるきるまちづくり		
施策の方向	3 ワーク・ライフ・バランスの普及、啓発		
具体的な施策	様々な地域活動における参加機会の充実		
内容	誰もが等しくスポーツや地域活動、ボランティアに参加できるよう、参加の機会を提供します。		

事業名	スポーツ推進事業	当初 予算額　24,928 千円
事業の目的	各種スポーツ活動を推進し、市民の健康な心とからだをつくる。	

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容	具体的な結果
	1．逗子市スポーツの祭典の開催 ・逗子市スポーツの祭典2023（開催日10/15、雨天により42種目中30種目を実施、2,278人参加）を開催した。 ・アンケート結果では、「スポーツの祭典がスポーツを始める（再開する）きっかけになると思いましたか。」の問いでは、「思う」…65.3% 2．各種スポーツ教室の開催（逗子市スポーツ協会補助事業） ・指導者養成教室（全８回、延べ201人参加）、ジュニアスポーツ教室（８種目、延べ249人参加）を開催した。 3．地域スポーツ大会の運営支援（逗子市スポーツ協会補助事業） ・市内８地域によるファミリー運動会（開催日9/17,24,10/1,7,8,21、4,480人参加）、地域対抗球技大会（開催日11/12,19、６種目、450人参加）への運営支援を行った。

PRポイント・意気込み	視点１	視点２	３段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
	1 □	ア □　イ □		・逗子市スポーツの祭典2023では、男女の区別なく誰でも気軽に参加ができるよう、チラシに「子どもからシニアまで、パラスポーツも楽しく遊べるよ」と記載し、多様な人々や団体と交流ができるイベントとなった。 ・各種スポーツ教室の開催や地域スポーツ大会の参加者に対して、イベントの満足度を効果測定するため、アンケートの実施を検討する。
	2 □	ア □　イ □		
	3 □	ア □　イ □		
	4 ☑	ア ☑　イ ☑	B	
	5 □	ア □　イ □		
	6 □	ア □　イ □		

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

	次年度以降も、世代、年齢関係なく幅広く啓発をお願いします。 また、次年度以降は、男女平等の視点で意識した点があれば報告をお願いします。

〈2023年度〉

ずし男女平等参画プラン2030　推進計画・実施状況報告書

担当課	市民協働課	整理番号	31
基本目標	Ⅴ　あらゆる暴力の根絶		
施策の方向	1 あらゆる暴力の根絶に向けた取組		
具体的な施策	あらゆる暴力を防止するための啓発と情報提供		
内容	DVなどの暴力の根絶に向けた啓発活動や情報提供を行います。また、当事者ばかりでなく地域や関係機関の適切な対応が行われるよう支援します。		

事業名	男女平等参画プラン推進事業	当初 予算額　5,814 千円
事業の目的	すべての人が平等に参加できる男女平等参画社会を実現する。	

【計画】 具体的な施策に対する事業の内容	【報告】 具体的な結果
	1.デートDV予防ワークショップの開催 （開催日2/20、2/22、2/27、参加者数公立中学３校計328名、アンケート結果　とてもためになった、ためになった…89.4%） 2.子どもの護身法講座の開催 （開催日7/15、参加者数42名（大人20名、子ども22名）、アンケート結果　大いに満足、満足…100%） 3.女性相談の実施における関係機関、関係課との連携を必要に応じて随時実施

PRポイント・意気込み	視点１	視点２	３段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
	1 ☑	ア ☑ イ ☑	A	アンケート結果の反映や新しい情報を盛り込むなど、講座の内容の見直しを行い、改善します。
	2 ☐	ア ☐ イ ☐		
	3 ☐	ア ☐ イ ☐		
	4 ☐	ア ☐ イ ☐		
	5 ☑	ア ☑ イ ☑	A	
	6 ☐	ア ☐ イ ☐		

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント	
	次年度以降は、視点1-2及び視点2も意識して実施をお願いします。 また、若年層へ向けた啓発を引き続きお願いします。

〈2023年度〉

ずし男女平等参画プラン2030　推進計画・実施状況報告書

担当課	市民協働課	整理番号	32
基本目標	Ⅴ　あらゆる暴力の根絶		
施策の方向	1 あらゆる暴力の根絶に向けた取組		
具体的な施策	ハラスメント防止のための啓発		
内容	ハラスメントを防止するため、情報提供や周知、啓発、研修を実施します。		

事業名	男女平等参画プラン推進事業	当初 予算額　5,814 千円
事業の目的	すべての人が平等に参加できる男女平等参画社会を実現する。	

【計画】

具体的な施策に対する事業の内容

PRポイント・意気込み	視点１	視点２
	1 ☑	ア ☑　イ ☑
	2 ☐	ア ☐　イ ☐
	3 ☐	ア ☐　イ ☐
	4 ☐	ア ☐　イ ☐
	5 ☐	ア ☐　イ ☐
	6 ☐	ア ☐　イ ☐

【報告】

具体的な結果
市民協働課窓口及び女性相談にて、相談者の希望に応じて労働局等の相談窓口や法律相談を案内した。

３段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
B	次年度以降、市HPを活用した啓発を検討します。

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

	次年度以降は、視点1-2及び視点2も意識して実施をお願いします。 また、2024年度からハラスメント防止法でハラスメントの予防措置が中小企業にも義務化されたので、このタイミングに合わせて啓発や発信をお願いします。合わせて相談先情報について、若年層への啓発もお願いします。

〈2023年度〉

ずし男女平等参画プラン2030　推進計画・実施状況報告書

担当課	職員課	整理番号	32
基本目標	Ⅴ　あらゆる暴力の根絶		
施策の方向	1 あらゆる暴力の根絶に向けた取組		
具体的な施策	ハラスメント防止のための啓発		
内容	ハラスメントを防止するため、情報提供や周知、啓発、研修を実施します。		

事業名	職員研修事業	当初 予算額　165 千円
事業の目的	ハラスメントを防止するため、研修を実施する。	

【計画】

具体的な施策に対する事業の内容

PRポイント・意気込み	視点１	視点２	３段階評価
	1 ☑	ア ☑　イ ☑	B
	2 ☐	ア ☐　イ ☐	
	3 ☐	ア ☐　イ ☐	
	4 ☑	ア ☑　イ ☑	B
	5 ☑	ア ☑　イ ☑	B
	6 ☐	ア ☐　イ ☐	

【報告】

具体的な結果
1.職場におけるハラスメント防止のための研修（動画視聴） 実施対象：全職員 受講人数：487人 2.令和５年度「カスタマーハラスメント」研修講座 実施日時：2024年（令和６年）３月13日（水）及び2024年（令和６年）３月18日（月） 実施対象：係長級以上の職員 受講人数：46人

気付き・次年度以降へ向けて
引き続き、ハラスメント防止研修を実施していく。

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

	次年度以降は、視点1-2及び視点2も意識して実施をお願いします。

〈2023年度〉

ずし男女平等参画プラン2030　推進計画・実施状況報告書

担当課	市民協働課	整理番号	33
基本目標	Ⅴ　あらゆる暴力の根絶		
施策の方向	2 DV被害者の安全確保		
具体的な施策	DV被害者等の早期発見に向けた連携		
内容	配偶者、パートナーからの暴力（DV）や幼児、児童虐待の実態など、関係機関及び担当課との連携を図り、被害の早期発見に努めます。		

事業名	男女平等参画プラン推進事業	当初予算額　5,814 千円
事業の目的	すべての人が平等に参加できる男女平等参画社会を実現する。	

【計画】

具体的な施策に対する事業の内容

PRポイント・意気込み	視点１	視点２
	1 ☑	ア ☑　イ ☑
	2 ☑	ア ☑　イ ☑
	3 ☐	ア ☐　イ ☐
	4 ☐	ア ☐　イ ☐
	5 ☐	ア ☐　イ ☐
	6 ☐	ア ☐　イ ☐

【報告】

具体的な結果
関係課と連携し、相談が必要な方を女性相談へ繋いだり、女性相談から他課へ繋いだ。また、女性相談にて児童・高齢者・障がい者等への虐待が疑われるケースについては、関係課・関係機関等に通告・通報するとともに、連携した対応を行った。

３段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
A	次年度以降も継続して、ＤＶ被害者等の早期発見に向け、関係課等と連携して取り組みます。
A	

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

	次年度以降は、対応状況について数値等で見える化されるようお願いします。

〈2023年度〉

ずし男女平等参画プラン2030　推進計画・実施状況報告書

担当課	子育て支援課	整理番号	33
基本目標	Ⅴ　あらゆる暴力の根絶		
施策の方向	2 DV被害者の安全確保		
具体的な施策	DV被害者等の早期発見に向けた連携		
内容	配偶者、パートナーからの暴力（DV）や幼児、児童虐待の実態など、関係機関及び担当課との連携を図り、被害の早期発見に努めます。		

事業名	こども家庭センター運営事業	当初 予算額　6,020 千円
事業の目的	母子保健・児童福祉の両機能の連携・協働を深め、虐待への予防的な対応から子育てに困難を抱える家庭まで、ポピュレーションアプローチとハイリスクアプローチを両輪として、切れ目なく、もれなく対応する	

【計画】

具体的な施策に対する事業の内容

【報告】

具体的な結果

個別の相談対応において、夫婦不和や配偶者からの暴言などの内容、親権の相談、離婚後の子どもとのがあったときは、市民協働課の女性相談、法律相談を案内した。また、事例によって、重層的な家族の課題があるときは、社会福祉課、ケアマネジャー、子どもに関係する者等、関係機関と複合的な連携会議を実施した。
個別ケース会議　36回/年度　実施
代表者会議　1回/年度　実施
実務者会議　1回/年度　実施
進行管理会議　12回/年度　実施

PRポイント・意気込み	視点１	視点２	３段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
	1 ☑	ア ☑ イ ☑	B	連携を継続して実施する他、講座、研修、相談事業等の予防的活動も増やし、あらゆる暴力を発生させない取り組みを強化する。
	2 ☐	ア ☐ イ ☐		
	3 ☐	ア ☐ イ ☐		
	4 ☐	ア ☐ イ ☐		
	5 ☑	ア ☑ イ ☑	B	
	6 ☐	ア ☐ イ ☐		

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

次年度以降は、視点1-2及び視点2も意識して実施をお願いします。

〈2023年度〉

ずし男女平等参画プラン2030　推進計画・実施状況報告書

担当課	市民協働課	整理番号	34
基本目標	Ⅴ　あらゆる暴力の根絶		
施策の方向	2 DV被害者の安全確保		
具体的な施策	DV被害者等緊急一時保護施設の確保と一時保護支援		
内容	DV被害者等緊急に保護を必要とする女性等に対し、保護施設を確保し、一時的に宿泊施設等に保護するための支援をします。		

事業名	男女平等参画プラン推進事業	当初予算額　5,814 千円
事業の目的	すべての人が平等に参加できる男女平等参画社会を実現する。	

【計画】　　【報告】

具体的な施策に対する事業の内容	具体的な結果
	1.女性相談の実施 令和５年度相談件数413件 2.緊急一時保護用費用の確保（宿泊費、食費、交通費） 3.県、市、民間団体の３者の協働により、２施設で緊急一時保護及び中期的支援を実施するための協定を締結

PRポイント・意気込み	視点１	視点２	３段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
	1 ☑	ア ☑ イ ☑	A	次年度以降も継続して、ＤＶ被害者等の安全確保のための支援を実施します。
	2 ☐	ア ☐ イ ☐		
	3 ☐	ア ☐ イ ☐		
	4 ☐	ア ☐ イ ☐		
	5 ☐	ア ☐ イ ☐		
	6 ☐	ア ☐ イ ☐		

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

	次年度以降は、視点1-2及び視点2も意識して実施をお願いします。

〈2023年度〉

ずし男女平等参画プラン2030　推進計画・実施状況報告書

担当課	戸籍住民課	整理番号	35
基本目標	Ⅴ　あらゆる暴力の根絶		
施策の方向	2 DV被害者の安全確保		
具体的な施策	DV被害者等の個人情報の保護		
内容	住民基本台帳事務における支援措置（住民票の閲覧制限等）を行うときは、情報の管理を徹底し、被害者の安全を確保します。		

事業名		当初 予算額　　千円
事業の目的	DV被害者等の個人情報を保護する	

【計画】

具体的な施策に対する事業の内容

PRポイント・意気込み	視点１	視点２
	1 ☑	ア ☑　イ ☑
	2 ☐	ア ☐　イ ☐
	3 ☐	ア ☐　イ ☐
	4 ☐	ア ☐　イ ☐
	5 ☐	ア ☐　イ ☐
	6 ☐	ア ☐　イ ☐

【報告】

具体的な結果
DV被害者等の現住所が加害者にわからないように支援を行うもの。住民情報系コンピュータシステム上で「住基支援申出」と登録され、関係各課において配慮を行う。 １　関係各課宛に戸籍住民課から取扱いについて周知している。(1回実施) ２　職員対象の情報セキュリティ研修において、資料の配布と説明を行っている。（2回実施）

３段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
A	被害者に寄り添って制度を運用するとともに、人為的な不注意により情報漏洩がないよう、関係各課の職員に周知啓発を行う。

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

	次年度以降は、視点1-2及び視点2も意識して実施をお願いします。

〈2023年度〉

ずし男女平等参画プラン2030　推進計画・実施状況報告書

担当課	市民協働課	整理番号	35
基本目標	Ⅴ　あらゆる暴力の根絶		
施策の方向	2 DV被害者の安全確保		
具体的な施策	DV被害者等の個人情報の保護		
内容	住民基本台帳事務における支援措置（住民票の閲覧制限等）を行うときは、情報の管理を徹底し、被害者の安全を確保します。		

事業名	男女平等参画プラン推進事業	当初予算額　5,814 千円
事業の目的	すべての人が平等に参加できる男女平等参画社会を実現する。	

【計画】

具体的な施策に対する事業の内容

【報告】

具体的な結果
住民基本台帳事務における支援措置届出書に係る確認を行った。

PRポイント・意気込み	視点１	視点２	３段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
	1 ☑	ア ☑ イ ☑	A	次年度以降も情報の管理を徹底し実施します。
	2 ☐	ア ☐ イ ☐		
	3 ☐	ア ☐ イ ☐		
	4 ☐	ア ☐ イ ☐		
	5 ☐	ア ☐ イ ☐		
	6 ☐	ア ☐ イ ☐		

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

	次年度以降は、視点1-2及び視点2も意識して実施をお願いします。

〈2023年度〉

ずし男女平等参画プラン2030　推進計画・実施状況報告書

担当課	市民協働課	整理番号	36
基本目標	Ⅴ　あらゆる暴力の根絶		
施策の方向	3 相談体制の充実		
具体的な施策	女性相談事業の充実		
内容	女性相談窓口を周知し、各部署や関係機関と連携を図ります。また、女性相談員の資質の向上とともに、適切な対応に努めます。		

事業名	男女平等参画プラン推進事業	当初 予算額　5,814 千円
事業の目的	すべての人が平等に参加できる男女平等参画社会を実現する。	

【計画】

具体的な施策に対する事業の内容

PRポイント・意気込み	視点１	視点２
	1 ☑	ア ☑ イ ☑
	2 ☐	ア ☐ イ ☐
	3 ☐	ア ☐ イ ☐
	4 ☐	ア ☐ イ ☐
	5 ☐	ア ☐ イ ☐
	6 ☐	ア ☐ イ ☐

【報告】

具体的な結果
女性相談窓口の周知 ・女性トイレ内への案内の掲示（逗子市役所内全20箇所） ・案内パンフレットの配架（配架場所数７（市役所、交流センター、沼間・小坪コミュニティーセンター、図書館、体験学習施設スマイル、逗子アリーナ）） ・HP、くらしのガイドへ掲載

３段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
A	次年度以降も継続して周知のための取組を実施します。

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

	次年度以降は、視点1-2及び視点2も意識して実施をお願いします。

〈2023年度〉

ずし男女平等参画プラン2030　推進計画・実施状況報告書

担当課	市民協働課	整理番号	37
基本目標	Ⅴ　あらゆる暴力の根絶		
施策の方向	3 相談体制の充実		
具体的な施策	男性DV相談、性的少数者に関する相談		
内容	男性のDV相談や性的少数者に関する相談窓口等の情報の提供に努めます。		

事業名	男女平等参画プラン推進事業	当初 予算額　5,814 千円
事業の目的	すべての人が平等に参加できる男女平等参画社会を実現する。	

【計画】

具体的な施策に対する事業の内容

PRポイント・意気込み	視点１	視点２
	1 ☑	ア ☑　イ ☑
	2 ☐	ア ☐　イ ☐
	3 ☐	ア ☐　イ ☐
	4 ☐	ア ☐　イ ☐
	5 ☐	ア ☐　イ ☐
	6 ☐	ア ☐　イ ☐

【報告】

具体的な結果
市民協働課窓口にて相談先情報の提供

３段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
B	市HPへ相談先情報を掲載します。

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

	次年度以降は、視点1-2及び視点2も意識して実施をお願いします。 また、男性トイレへの相談案内の設置の検討をお願いします。

プランの数値目標

基本目標Ⅰ

	項目	現状値(現状値調査年度)	2023 年度	目標(2030 年度)
1	市民意識調査の結果において「平等」と感じる市民の割合が 50%を超えている。*1(市民協働課)	15.8% (2021 年度)	18.9% (2023 年度)	50% (2029 年度)
2	市民意識調査の結果において「男は仕事、女は家庭」に「賛成」「どちらかといえば賛成」と答える市民の割合が 20%以下になっている。*2(市民協働課)	26.70% (2020 年度)	26.70% (2020 年度)	20%

基本目標Ⅱ

	項目	現状値	2023 年度	目標(2030 年度)
3	審議会等へ参加する女性の割合が 40%を超えている。(市民協働課)	28.70% (2022 年度)	29.90% (2023 年度)	40%
4	自治会、地域団体等の女性役員、リーダーの割合が40%を超えている。(市民協働課)	22.08% (2022 年度)	19.23% (2023 年度)	40%
5	管理職の女性の割合が 30%を超えている。(職員課)	14.50% (2021 年度)	16.1% (2023 年度)	30%

基本目標Ⅲ

	項目	現状値	2023 年度	目標(2030 年度)
6	市民意識調査の結果において「父母ともに主に子育てを行っている」と回答する人の割合が 100%になっている。*3(子育て支援課)	57.0% (2019 年度)	66.5% (2023 年度)	100%
7	子育て支援センターにおける「お父さんの日」の来場者数を、年間 150 人以上にする。(子育て支援課)	未把握	149 人 (2023 年度)	150 人
8	子育て支援センターに来場する保護者のうち、30%以上が父親になっている。(子育て支援課)	未把握	10.4% (2023 年度)	30%
9	市民意識調査の結果において「LGBTQ 等の性的少数者について、言葉と意味を両方知っている」と回答する人の割合が 80%を超えている。*4(市民協働課)	62.40% (2020 年度)	62.40% (2020 年度)	80%

基本目標Ⅳ

	項目	現状値	2023 年度	目標(2030 年度)
10	市男性職員の 1 ケ月間を超える育児休業取得率が 30%を超えている。(職員課)	18.2% (2020 年度)	75% (2023 年度)	30%
11	創業支援セミナー参加者のうち、女性の割合が 50%を超えている。(経済観光課)	50.96% (2021 年度)	58.0% (2023 年度)	50%

基本目標Ⅴ

	項目	現状値	2023 年度	目標(2030 年度)
12	DV を受ける人を減らす。*5(市民協働課)	7.1% (2020 年度)	7.1% (2020 年度)	7.1%未満

*1 「逗子のまちづくりに関する市民意識調査」等の結果に基づく。(毎年度実施予定)

*2、*4、*5 「男女平等参画社会に関する市民意識・実態調査」の結果に基づく。(次回は令和 7 年度実施予定であり、以後 5 年ごとに調査予定)

*3 「逗子市子ども・子育て支援事業計画の策定に伴うアンケート調査(未就学児調査)」の結果に基づく。(次回は令和 5 年度に実施予定であり、以降5年ごとに調査予定)